

LINE 友だちキャンペーン（案）

ーさくら・ハートバス無料乗車パスプレゼントー

1 目的

本市のプロモーション戦略において市LINE公式アカウントの登録者（以下「友だち登録者」という。）の拡大を図り、市の施策を多くの市民に発信する機会を作る必要がある。

また、デジタル技術を活用し、友だち登録者の拡大に合わせ、運賃の無料キャンペーンにより市自主運行バスのPR（利用体験）を行うことで、新たなバス利用者の拡大・確保に努め、合わせてゼロカーボンの推進を図る。

※地域公共交通計画の基本理念である「市民に必要とされ、誰もが利用しやすい地域公共交通」の基本方針の一つとして、多様な主体が共に育む地域公共交通を掲げ、新たな利用者の獲得と利用機会の増加を図るため、デジタル技術を活用しながら、沿線施設や店舗との連携による新たなサービスの検討や、PRの内容・方法の充実に取り組むこととしている。

また、地域公共交通のブラッシュアップとして、脱炭素社会の実現と運行の効率化を図ることを目標に掲げている。

2 内容

- (1) 日 時 令和5年10月22日（日）「はつかいち環境フェスタ実施日」
- (2) 対 象 者 友だち登録者（無料乗車パス所持者）及び同乗者1名
- (3) 対象路線 市自主運行バス全路線（※広電バスについては対象外）
- (4) 実施方法 友だち登録者で「バス無料乗車パス」の申請者に対し、市自主運行バスの無料乗車パスを交付する。（利用者は無料乗車パスをバス運転手に提示して利用）
- (5) 関係課 プロモーション戦略課、デジタル改革推進課、ゼロカーボン推進室、交通政策課

3 事務の流れ

- (1) 廿日市市公共交通協議会でキャンペーン実施（バス無料乗車パス）について説明
- (2) キャンペーンの周知を行った後、友だち登録者に対して申請フォームを発信し、申請受付後、申請者に対してバス無料乗車パスを送信
- (3) バス利用者は、バス無料乗車パスをバス運転手に提示し、バスを利用
- (4) バス運転手は、バス無料乗車パスを確認し、利用人数を把握
- (5) 運行事業者は市に対して、11月の負担金請求に合わせ、利用者数を報告

4 その他（効果検証）

- (1) 友だち登録者（バス無料乗車パス申請者）に対し、市自主運行バスの利用アンケート調査を実施し、バス無料乗車パスの利用の有無、感想等を確認
- (2) バス無料乗車パス申請者数、利用者数及び友だち登録者数の推移等を確認